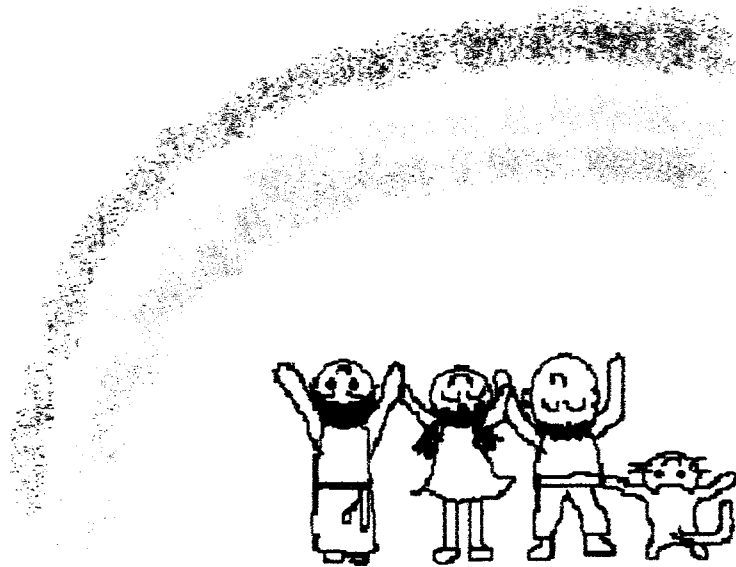


# シャロンの花だより

東教区女性会会報

## 主題 「虹の架け橋」

～世界に、アジアに、隣人に、主の愛を～



わたしは雲の中にわたしの虹を置く。

これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。

—創世記9章13節—

### 第21期主題聖句

目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。  
何事も愛をもって行いなさい。 コリントの信徒への手紙一 16章13節から4節

第79号 (21期 第2号)

2010年7月20日

発行人：日本福音ルーテル教会女性連盟 東教区女性会

発行者：安藤淑子 編集：松比良節子

卷頭言
-----

## ぬくもりのある距離を求めて

## —その根底にあるもの—

キリスト教カウンセリングセンター相談所長

元ルーテル学院大学教授

賀来周一



今回、東教区女性会主催の公開講座の主題は「ぬくもりのある距離を求めて」とされました。わたしたちが互いに支え合い、助け合う関係には「ぬくもりのある距離」を持った関わりがなければならぬとの思いからでした。

あるカトリック系病院を訪ねた時のこと、ナースステーションの傍らにパストラルケアルームというネームプレートが掛かった部屋がありました。そこにいたシスターに「パストラルケアといえば、牧会（ローマ・カトリック教会では司牧）という意味ですね。教会固有の働きを表す言葉が、なぜ病院という教会外の場で用いられるのですか」と訊ねました。シスターから「牧会の働きは、誰もが必要としますから」との答えが返ってきました。

牧会とは、羊飼いと羊の関係に由来する働きであることはよく知られています。聖書的には、ヨハネ 10 章 1～16 節がその典型的な箇所と言えましょう。羊飼いはキリストであり、羊はわたしたちであることは言うまでもないことです。

羊飼いは羊をよく知っており、羊もまた羊飼いをよく知っているとは、言い換えれば、「私」はよく知られ、かつ知られていることを知っている一匹の羊として大切に扱われているということです。ひとりひとりを大切に、という言葉はよく聞くところです。人は、誰しも大切にされたいと願っているものです。この願いに応じて、「私」というひとりの存在が大切にされると生きる幸せを感じます。

聖書にはさらに「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」（ヨハネ 10：10）とあります。幸せに生きるための根っこにある命が大切にされている、そんな「私」というひとりの存在があるということです。

その上、この牧会の働きはただ単にひとりひとりが大切にされているという次元で終わっていないのです。聖書には「良い羊飼いは羊のために命を捨てる」（ヨハネ 10：11）とあるように一匹の羊の存在のため命を捨ててくださる「お方」がおいでになることをわたしたちは知らされるのです。ひとりが大切にされる働きの背後には命を捨ててまで「私」を大切にしてくださる「お方」がおいでになる、それは、まさかそこまで大切にされるとは、驚く以外にありません。ルターは「これを知っている者は全世界が知らないことを知っているのである」と言いますが、それほどまでに「私」という存在が重視される世界が教会の「牧会」という働きの中にあることを知るとき、わたしたちの間の助け、支え合う関わりの中での互いの関係には、自ずと「ぬくもり」を発見するのではないのでしょうか。そのことはまた、「誰もが必要とする世界」へ広がっていることを知りたいものです。

ぬくもりのある距離を求めて  
—教会や地域社会でのあり方—

ルーテル学院大学・大学院研究科長  
福山和女



近年、社会や地域の中で、また同僚や仲間うちで、互いの関わりがさめられているとか言われています。また、逆に仲間が困っているときに何とかしてあげたいと近づくと、「大きなお世話」と批判を受けることもあります。この課題については、医療や福祉の対人援助の専門家たちも悩んでいるところであり、自己の対応の仕方やコミュニケーションの技術が悪いなどと悩み、どうすればよいのかと技術や姿勢を質すことに日夜努力しています。

皆さんは、「ぬくもりのある距離」についてどのようなイメージをもっておられますか。今回、私たち各人が、対人関係の距離として、自分自身の独自のやり方で他者と関わりを形成し、それは家族内、特に3世代前から相互作用で構成され伝承されたものであることを、役割を演じることを通して実感しました。各人、ぬくもりのある距離の感知・認知の仕方も異なります。他者との関わりでは、私たちは自己の距離についてよく理解しておくことが求められるでしょう。

家族団欒、ぬくもりの距離を考える上で、精神科医フロイトや家族療法家ボーエンの理論を当てはめてみて、オムツのつけ方での心地よさについて考えます。母親の独自のやり方は数世代もの家族の伝承の結実であり、それが後の他者との関わりに影響します。この独自のやり方が、ほめられ体験やその距離、友人・知人との仲の良い距離、気持ちを分かり合えた距離、職場の上司との距離、理解してもらえた距離に発展します。地域の人々と親しく関わろうとすることが大きなお世話と判定されるのも自己の独自性を基準にしているからなのです。人それぞれにぬくもりのある距離の感覚を持っており、それを理解されたとき、初めて、人々は自己を尊重してもらえた居心地のよさを感じます。それが、人の尊厳を尊ぶことにつながるのだらうと思います。

(2010.05.29)



第2回「ぬくもりのある距離を求めて」講座に参加して

教区女性会副会長 木村富久子

76名の兄弟姉妹と共に、福山先生に導かれてロールプレイを交えながら、「ぬくもりのある関係」とはどういうものか、の探求の旅に出た。私たちは5歳になったり、94歳になったりしながら、隣の人と先生の求められる会話をした。

「ぬくもりのある距離」は家族、友人、第3者でそれぞれ違う。そして「ぬくもりのある距離」はそれぞれ自分が作って来た距離であり、母親とのかかわりにつながっている。かかわりの原型は母親にしてもらったことが伝承され、ぬくもりのある距離はほめられた体験の蓄積でもある。家族関係に問題がある場合は、家族により悪いはなく、問題はそのようななりゆきである。メンバーはそれぞれ独自性、存在価値を認めることが必要である。独自性は何世代にもわたって作られている。

最後に、人間は言葉を使って表現することにばかり、なじんでしまっているが、人間であることと、生物であることの両面を大事にしなければならない、と先生は話された。面白く参加したが、「ぬくもりの探求」は思いのほか、複雑で難しいものだった。

## 会長通信

### 第21期東教区女性会 会長 安藤淑子

長い間準備していた二回の公開講座が4月と5月に盛会・好評のうちに終わりました。そして、八王子教会ではこの公開講座がきっかけで勉強会が開かれているとのこと。このような嬉しい報告には、本当に励まされる思いです。

本年、東教区女性会は、3月教区総会、5月本教会総会、6月激論6・5、また7月東教区主催宣教フォーラムでコーヒーショップを担当しました。それぞれの会では多くの女性会の方々のご奉仕、また献品をいただき感謝の気持ちで一杯です。激論6・5では4,715円、宣教フォーラムでは16,000円の純益が与えられました。(純益累計は153,065円) コーヒーショップ担当の目的は、良い会になるよう、出席者に暖かい飲み物とおいしいお菓子で「ほっと一息ついていただくこと」です。これらの活動を通して共に働く喜び、それらの会場(教会)を知り、またそこに出席される方々に会える喜び、その上お求めいただいた手作りのケーキがご自宅や教会で話題になり、間接的にでも信仰の証になる喜びなど、沢山の喜びをいただくことが第二の目的です。その上、収益は各施設への献金や女性会活動に充てる喜びがあります。収益金の送り先は、既にお送りしたブラジル伝道へ(42,350円)以外は金額、送り先等役員会で検討中です。

なお、宣教フォーラムでは180余名の参加者があり、小石川教会60年の歴史で参会者が一番多い会であったとのことでした。

この秋10月2日(土)には入所者の皆様との交流のために東京老人ホームを訪問します。この訪問では私たちに必ず来る「老い」についても学ぶ良い機会になりますので、今からは是非予定に入れてくださいますようお願いいたします。

\*\*\*\*\*

### 公開講座こぼれ話

#### 賀来周一先生との再会

八王子教会会長 水野洋子

4月17日の会長会の午後、講座の始まる数分前、賀来周一先生にご挨拶する時が与えられました。私は思い切って50年あまり前の賀来先生の思い出を打ち明けました。先生は23~24歳くらいの頃で、すらっとした長身の優しい眼差しの大学生でした。現在の神戸ルーテル聖書学院で学んでいた私は、誰かに「賀来周ちゃん」と紹介されました。当時、先生のお母様が学院生のお世話をしてくださっていて、先生は休暇に神戸に来られていたと思います。夕拝後、食堂で学生が集まって神学論? 思い出しても恥ずかしく生意気な若者談義の中に、ここにこと加わっておられたのです。

その後、お会いする機会もなく、10年ほど前に八王子教会に参りました私にとって、先生の講義も今回が初めてです。昔の青年と多少お太り? の先生が交叉する中での講義は、戸惑いつつも私の心をとらえ、日常の経験談から聖書へと引き戻されて行きました。

さて、八王子教会の女性会では、公開講座以来、賀来先生著『気持整理&生き方発見』を1ページずつ学んでいます。子育てのころを振り返り、また難しい人間関係などを語り合い、聖書に人生の基を示されています。15名あまりの参加者ですが、前進のみ。みなさまご加祷くださいませ。

賀来先生のご健康をお祈りし、ますます主が用いてくださいますようにお祈りいたしております。



## 続・虹の向こう側から

サンパウロ教会

徳弘由美子

皆様、お元気ですか？ いつも、お祈り、お支え、有難うございます。ワールドカップの最中、「サッカー王国」といわれるブラジルから、ご挨拶申し上げます。



**ワールドカップとブラジルと日本** 6月27日の日曜日はブラジル戦がポルトガル語礼拝の終了直後開始だったので、礼拝後みんなで応援しました。礼拝堂正面の白い壁が大型スクリーンになり、ジュースやポップコーン持参のポルトガル語礼拝参加者は大変盛り上がりました。教会でこんなこともたまには良いなと思いました。ブラジルは日系人が多い(150万人とも)ので、日本の試合も盛り上がります。教会の前のバル(軽食居酒屋)からも、歓声が聞こえます。

そして驚いたことに、一般のお店だけでなく、サンパウロ市役所もブラジル戦がある日は、「半ドン」になるのです！ブラジル人の大工さん達も家で家族で応援というので、帰ってあげました。ブラジルにいても日本や、日本にいるブラジル人たちのことも身近に感じています。

**自動車** 無事に購入できました。ご支援ありがとうございました。7人乗りの中古車で、訪問や家庭集会、礼拝後のお送りなどで活躍しています。最初は左ハンドルに慣れず乗るのが怖かったのですが、大分慣れて、100~350km 離れた所も日帰りで訪問したりしています。教会改修工事のための資材買出しでも活用しています。

**教会移転と改修工事** 立退きに応じ、この機会に広く良い所に移るのが神様のみ心ではないかと、皆で話し合い、祈りました。50件くらい候補物件を見て回りました。幸い、日本人街のリベルダージという街に広い2階建ホールのある一軒家を見つけ、祈りながらの長い価格交渉の末、ようやく4月末に売買を済ませました。最後の不足金も、日本福音ルーテル教会の昔から残ったままだったブラジル教会建築基金(860万円)を今回お送りいただき、何とか手が届きました。ご支援に感謝しています。目下引越後2カ月ですが、教会用に改修中で毎日埃が舞い上がる工事現場に住んでいます。まだ台所やお風呂が十分使えない状況で、主婦としてはストレスがたまる毎日です。しかし、毎週教会らしくなっていく姿に、教会員は喜んで下さっています。明るく広くてバザーもしやすくなり、空いた部屋はゲストルームや下宿にすれば、改修経費の足し、維持経費や教会の自給への助けになると、検討中です。バザー荷物も各地よりお送りいただき感謝しています。

**女性の働き** 3月には私と同年代の女性メンバーが、大学の教員で南極に研究に行かれ、報告会をしていただきました。京都に留学経験もあり、京都教会でお交わり頂いたそうです。ご高齢の日系一世の方に加え、二世のポルトガル語メンバーやデカセギから帰国された母子、スペイン語を話すボリビア人も定着されて喜んでます。また、男性駐在員も定着し、広がり世代交代を祈りながら取り組んでいるところです。



同年代の女性メンバーたちと

**将来...** 集会所でのポルトガル語夕拝も再開し、南米教会の将来と、日系パロキア全体の将来へ向けて、正念場の2年目となっています。今後ともお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

皆様の教会でも神様の祝福があり、宣教が進み、恵み深い教会生活が送れますよう、虹の彼方からお祈りしています。

## 女性会連盟・教区役員研修会の報告

日時： 2010年5月20・21日  
 場所： 東京教会  
 参加者：連盟役員 谷口美樹会長他3名  
 九州・西・東海・東・北海道教区役員

主のお守りのもとに、総勢30名前後の役員と、立野先生ほか牧師先生のご参加を得、雨の上がった東京で礼拝ののち、「協力委員の活動を学ぶ」というテーマで、3年に一度の研修ははじまった。5つの教区の実情を分かち合ったり、めいめいの職掌ごとに集まって話し合ったり、NCC, ACWC, LWF/WICAS, いくつしみ等の4つの協力委員の所に分かれて、理解を深めた。夕食の後は「連盟への要望・アドバイス」という時間もあり、8時に晩禱ののち解散し、翌朝は9時からまた始まった。詳しい報告は連盟ニュース「ひびき35号」にありますので、2名の方のコメントだけをうかがいます。(文書担当)

### 阿部富美子連盟担当：女性会連盟副会長・書記

連盟役員として初めての役員研修会、2日間学びと交わりを通して協力委員の働きを学びました。日ごろ、協力委員の方の働きは理解しているつもりでしたが、実際、協力委員の方を前にしての学び、理解を深められたことと思います。その働きに感謝し、協力していなくてはと思えました。九州から北海道までの役員の方が一同に会し、互いの情報交換や祈り支え合うことができ、大切な宝を得たような気がいたしました。連盟へのご意見、要望を聞いたこと(もちろん厳しい意見も)これからの連盟の在り方、活動の上に生かしていければとの思いを新たにいたしました。

### 安藤淑子会長：蒲田教会

各教区の問題ばかりでなく、それに対する解決方法などを出し合っのよい研修会でした。



### 7ページ会計報告のつづき

現金	38,363
通常郵便貯金	954,340
合計	992,703

次年度繰越金	638,929
積立会計残高	353,774
合計	992,703

定額預金 19期積立て 用いたまえ愛の主よ基金 500,000円

#### 脚注1

支援献金先	
ほしくずの会	20,000
ブラジル伝道	20,000
こどもの家	20,000
東京老人ホーム	20,000
ベタニヤホーム	20,000
千葉ベタニヤホーム	20,000
希望の家	20,000
合計	140,000

2009年度女性会連盟送金内訳		
連盟会費	1,427,400	549名
会報購読	74,000	149名
連盟活動支援	62,500	
感謝献金	146,050	
サバ神学生支援	322,500	
リーストコイン	103,911	
教職家族支援	5,000	
合計	2,141,361	

皆様のお祈りのうちに、2009年度東教区女性会会計が守られたことを、深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。  
 なお、2010年3月13日に監査を受け承認されています。

## 東教区女性会

## 第21期 会計報告2009年度及び2010年度予算

21期会計 中島美津江

	費目	2009年度	2009年度	2009年度概要 説明	2010年度	2010年度予算案説明
		予算	決算		予算	
収入	東教区会費	685,200	658,800	549名×1,200	627,600	523×1200
	教区便り購読費	0	14,400	144名×100	16,100	161名×100
	教区活動支援献金	123,000	149,890	23教会、席上献金58,400円	130,000	
	感謝献金	35,000	29,300	5教会、2個人より	30,000	
	コーヒーショップ	15,000	2,681	東教区総会コーヒーショップ(飲み物のみ販売)	42,350	東教区総会コーヒーショップ・全収益をブラジル伝道へ
	雑収入	5,000	1,567	利息等	10,000	公開講座のお茶菓子代
	前年度繰越金	529,636	529,636		638,929	
	合計	1,392,836	1,386,274		1,494,979	
	支出	教区便り	100,000	21,400	シャロンの花だより、ほっとニュース各1回(手作り)1100部発行	30,000
会議費		51,000	41,500	会長会会場費、講師謝礼等	90,000	会長会会場費、講師謝礼等
交通費		60,000	97,980	役員会等への交通費	130,000	役員会等への交通費
教区交流費		165,000	83,440	会長会等遠距離交通費補助	120,000	遠距離交通費補助
地区活動費		50,000	60,000	甲信地区、城北総武地区へ	60,000	地区活動の為
次世代育成支援金		80,000	75,990	TNGの働きへ、神学生へ手帳	80,000	TNGの働きへ、神学生へ手帳
通信事務費		64,200	52,035	郵送料、手数料、印鑑、コピー用紙	70,000	郵送料、手数料、コピー用紙等
慶弔費		10,000	5,000	お一人へ	10,000	
備品費		2,000	0		2,000	
支援献金		150,000	140,000		120,000	
連盟大会積立金		100,000	100,000		70,000	2012年は西教区で開催
東教区総会積立金		70,000	70,000		30,000	2012年開催
雑費		6,000	0		5,000	
コーヒーショップ					42,350	ブラジル伝道の為に
次年度繰越金		484,636	638,929		635,629	
合計	1,392,836	1,386,274		1,494,979		

z

## 2009年度 積立会計報告 (連盟・教区共に3年毎に総会開催)

	前年度繰越金(1)	2009年度経費(2)	2009年度積立金(3)	2009年末残高(1)-(2)+(3)	2010年積立て	2011年積立て	2011年末残高
連盟大会、総会	300,000	226,200	100,000	173,800	70,000	70,000	313,800
東教区総会	270,000	160,026	70,000	179,974	30,000	30,000	239,974
合計	570,000	386,226	170,000	353,774	100,000	100,000	553,774

注 2009年は収入から支出を控除した残高は¥154,293

### みんなの作品

フィンランドの交換ツアーの旅行団 二十二人を駅に迎へぬ  
迎へたるフィンランドの旅行団 サクラサクラと花に触れゆく  
生かされて八十六の誕生日 今年母の日と重なれり

飯田教会 依田時子

タンポポの 地一面の 讃歌かな  
子の髪の リボンも跳ねて 復活節

池袋教会 久保コト

神学校 凜と咲き初む 梅真白 泰重  
冬日燦 享けてルーテルチャペルかな 豊  
料峭や 聖画の中に ユダもゐて 明子

武蔵野教会 芳賀明子(未来図 上水句会より)

あずみのの 麦秋をいく 乳母車

保谷教会 美智子

#### 甲信地区「女性の集い」

飯田教会・東教区女性会副会長 熊谷祥子

6月12日(土)松本地区センターにおいて、甲信地区「女性の集い」を開催しました。(35名)  
講師は東教区教区長 大柴謙治牧師、ジェームズ・サック牧師による「関わり～絆」をテーマにしたお話とキャロル・サック宣教師による、リラ・プレカリアの音楽に感動いたしました。  
また、休会中の甲府教会より8名の出席があり、甲府・諏訪・飯田から3名の男性も参加してくれました。教区女性会からは連盟副会長・東教区役員 阿部富美子姉が出席してくださいました。

#### 教区女性会の最近の活動および予定

- ・ 4月17日(土) 10:30~12:30 会長会 於:市ヶ谷センター2階会議室  
13:30~15:30 公開講座「ぬくもりのある距離を求めて」  
第1回 講師 賀来周一先生 106名参加
- ・ 5月29日(土) 13:30~15:30 第2回公開講座「ぬくもりのある距離を求めて」  
講師 ルーテル学院大学教授 福山和女先生 76名参加
- ・ 10月2日(土) 東京老人ホーム訪問。 近日中に各教会からの参加を募集します
- ・ 10月23日(土) 会長会 講演「家庭内暴力について(仮称)」講師 柳堀恭子姉・藤井礼子姉
- ・ 10月30日(金) 10:30~15:00 ACWC一日研修会 於:日本基督教団富士見町教会
- ・ 8月上旬「いつくしみ」の例年の行事である、韓国ルーテル女性宣教会夏季修養会に、東教区から中島美津江役員が参加されることになりました。主のお守りを祈ります。

#### 《編集後記》

2010年度の活動は、昨年の会長会でのご要望を具体化し、4月17日と5月29日に「傾聴ぬくもり講座」を計画したことから始まりました。ホットニュース「ミニシャロンの花だより」に4月の方は詳しく報告されています。すばらしい講師に恵まれ、2回とも大勢のご参加をいただき、実りある会となりました。10月2日には、東京老人ホームへ訪問しますので、参加者募集が間もなく開始されます。今年の特徴として、会長の熱意とみなさまのご協力のおかげで、教区総会、全国総会、宣教フォーラム等でコーヒーショップを開き、ブラジル他への献金をたくさん得ることができ、ありがとうございました。「シャロンの花だより」に「みんなの作品」欄を設けました。現代詩やカットなどもお寄せください。その他ご意見をお待ちしています。